
人と光と時の流れ

ミッシ・ゴッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人と光と時の流れ

【Nコード】

N5282F

【作者名】

ミッシ・ゴッシュ

【あらすじ】

全てに絶望した老人が造り上げたその装置は、世界に多大な影響を与える。

空には分厚い雲が立ち込め、街に覆い被さっていた。日の光りは遮られ、辺りは薄暗くどこか陰湿な気配が漂っていた。

そんなある日の昼下がり、とある家のある一室で年老いた男は油にまみれながらも黙々と作業に打ち込んでいた。
「ここをこうして……いや、これを使うべきか」

男は曲がった腰に鞭を打ち、身の丈を超すその鉄塊に何やら細々とした金属の部品あるいはプラスチック製の板、ゴムで被覆したケール等を手書きの図面と照らし合わせながら丹念に取り付けて行った。

「これが最後の一つ」

年老いた男の左手の掌の上で、1cm程の小さな螺子が楽し気に踊っていた。それを右手で摘むとゆっくりと、螺子穴に通し慎重にそして力強くきつく締めた。

「晶子……ついにやったぞ。」

男は古ぼけた写真を胸ポケットから取り出すと、それに写る女性を見つめて呟いた。

男の名は清一郎。この写真の女性、晶子とはかつて結婚を誓い合った仲だったが、当時の日本は戦争の真っ只中。敵国に出兵していた清一郎が戻った時、その場所にあるはずの晶子のあの優しい笑顔はどこにも無かった。

清一郎は愕然とした。国のために戦い、傷付き、傷付け、人を殺

めた。それなのにその報いがこれかと。

大切な人を失った清一郎は深い深い悲しみに暮れたが、その悲しみが男にある一つの決断を下させた。

この腐った国に、光の裁きを。

しかし、それはあまりに漠然とした物であつた。故に今日まで六十年以上の歳月を要した。

清一郎は高振る気持ちを落ち着かせ、最後の時を街に出て暫く歩いて過ごす事にした。

先程まで街を覆っていた雲は何処かに消え失せ、澄み渡る蒼い青い空は我が復讐を後押ししてくれているのではないか、とさえ思えた。しかし、通りではしゃぐ子ども達の無邪気な笑顔が目についた。「私はあの笑顔を奪おうとしているのか……」

不意に清一郎の心が揺らいだ。しかし、直ぐにそれは打ち消された。

「何のために生きて来た？ 今日のためだ」

清一郎はその場を立ち去り、足早に己の思いが詰まるあの家へと向かった。

清一郎の眼前には人生を賭けたあの装置が、そして指先は赤いボタンに掛けられていた。

「これを押せば全てが終わるのか……」

清一郎はこれまでの人生を振り返った後、目を閉じそのボタンを押した。装置は轟音を上げ、光を放った。その光は世界全土を駆け巡り、光に触れた全ての『時』を奪い去った。

この星、地球は眩い光に包まれ活動を停止した。今や人も風も水も音さえも何もかもが動きを止めた。

ただ、清一郎の造り出したあの装置と地球自体は今も尚、動き続けている。

それから何百年たった頃だろうか、あの装置が遂にその役目を終える時が来た。

それはゆっくりと、まるで人間が生を終える時の様に静かに動きを止めた。そして清一郎が微笑んだ様に見えた。しかし、次の瞬間に清一郎の姿は無かった。いや、そこには、地球上には何もかもが無くなっていた。

世界が動きを止めていた数百年もの間、太陽は片時も休まず地球に光を送り続けていた。

その陽の光は地球を包む『光』に触れた瞬間に動きを止め、そして地球を包む『光』が消えた時、陽光は一斉に地球に降り注いだ。その温度は数千度にまで達し、そこに存在するあらゆる物を蒸発させた。

こうして清一郎の真の復讐は果たされた。

2
0
0
7
/
0
3
/
2
7

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5282f/>

人と光と時の流れ

2011年1月27日05時13分発行